

Market Watching

発表日: 2020年12月7日(月)

追加景気対策はECBから(マーケットウィークリー)
~各国の追加景気対策期待が支えとなる市場展開が続こう~

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
11月30日(月)	日本: 商業動態統計・小売業販売額 (10月)	+6.4%	+6.2%	▲8.7%	前年比
	日本: 鉱工業生産指数 (10月)	+3.8%	+2.2%	+3.9%	前月比
	日本: 住宅着工戸数 (10月)	80.2	82.0	81.5	万戸
	中国: PMI製造業景気指数 (11月)	52.1	51.5	51.4	ポイント
	米国: シカゴ地区PMI (11月)	58.2	59.2	61.1	ポイント
12月1日(火)	日本: 労働力調査・失業率 (10月)	3.1%	3.1%	3.0%	
	日本: 一般職業紹介状況・有効求人倍率 (10月)	1.04倍	1.03倍	1.03倍	
	日本: 法人企業統計 (7-9月)・設備投資 (除ソフト)	▲11.6%	▲3.8%	▲10.4%	前年比
	・経常利益	▲28.4%	—	▲46.6%	前年比
	日本: 新車販売台数 (11月)・乗用車	+6.4%	—	+34.5%	前年比
	中国: 財新PMI製造業景気指数 (11月)	54.9	53.5	53.6	ポイント
	豪州: 金融政策委員会	0.10%	0.10%	0.10%	RBA政策金利誘導目標
	ユーロ: 消費者物価指数速報値 (11月)・総合	▲0.3%	▲0.2%	▲0.3%	前年比
	・コア	+0.2%	+0.2%	+0.2%	前年比
米国: ISM製造業景気指数 (11月)	57.5	57.5	59.3	ポイント	
米国: 自動車販売台数 (11月)	1,555	1,610	1,620	万台	
12月2日(水)	日本: 消費動向調査・消費者態度指数 (11月)	33.7	33.0	33.6	ポイント
	豪州: 実質GDP (7-9月期)	▲3.8%	▲4.5%	▲6.3%	前年比
	ユーロ: 失業率 (10月)	8.4%	8.4%	8.3%	
	米国: ADP雇用統計 (11月)	+307	+500	+365	前月差、千人
12月3日(木)	ユーロ: 小売売上高 (10月)	+1.5%	+0.5%	▲2.0%	前月比
	ブラジル: 実質GDP (7-9月期)	▲3.9%	+0.5%	▲11.4%	前年比
	米国: 新規失業保険申請件数 (11/28終了週)	712	765	778	千件
	米国: ISM非製造業景気指数 (11月)	55.9	56.2	56.6	ポイント
12月4日(金)	インド: 金融政策委員会	4.00%	4.00%	4.00%	レポレート
	米国: 雇用統計 (11月)・非農業就業者数	+245	+500	+638	前月差、千人
	・失業率	6.7%	6.8%	6.9%	
	・時間あたり賃金	+4.4%	+4.2%	+4.5%	前年比
米国: 貿易収支 (10月)	▲631	▲650	▲639	億ドル	
12月5日(土)	—				
12月6日(日)	—				

(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.966	+12.9	+0.6	▲142.1	0.877	0.774	0.726
日本	0.020	▲0.5	▲1.0	+6.0	0.022	0.024	0.010
ドイツ	-0.547	+4.1	+9.1	▲23.2	-0.567	-0.534	-0.490
豪州	0.993	+9.2	+20.1	▲6.8	0.885	0.865	0.882
株価							
NYダウ	30218.26	+1.0	+8.5	+9.3	29290	28391	26218
日経平均	26751.24	+0.4	+12.9	+15.6	25501	24068	22134
ユーロSTOXX50	3539.27	+0.3	+12.0	▲3.3	3413	3293	3148
上海総合	3444.58	+1.1	+5.1	+19.7	3362	3317	3123
為替相場							
ドル/円	104.17	+0.1	▲0.3	▲4.3	104.38	105.11	106.45
ユーロ/円	126.30	+1.5	+3.1	+4.7	124.01	124.22	121.66
豪ドル/円	77.35	+0.6	+3.0	+3.8	76.22	75.93	73.16
ユーロ/ドル	1.2121	+1.3	+3.4	+9.4	1.188	1.182	1.143
商品市況							
WTI	46.26	+1.6	+18.2	▲20.8	42.19	40.73	35.57
金	1835.9	+3.0	▲3.2	+24.6	1858	1896	1806

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (11/30~12/4) の金融市場は、欧米の追加金融緩和期待などを背景に、株高傾向が続いた。NYダウは3万ドルを超えて越週した。週内に発表された米経済指標は、総じて回復ペースが鈍化していることを示唆する内容となったが、米議会が追加の景気対策に関して限定的な内容ながら前進しているとの報道もあり、景気が失速するような事態は避けられるとの期待が高まり、金利もリスクオフの流れの中で上昇した。

今週のマーケットは、各国の政策対応に対する期待が潰れない限り、引き続き景気に対して楽観的な見方が続こう。欧州ではECB理事会が注目され、量的緩和期間の延長や規模の拡大を中心とした追加緩和策が決定されるとの見方がコンセンサスとなっている。政策金利の変更に踏み切るとの見方はほとんど無いが、利下げはなくても市場予想通り量的緩和策の拡充に踏み切れば、市場の安心感には繋がる。米国では、失業保険の給付金の積み増しや期間の延長など、多くの景気対策が12月末で期限切れを迎えるため、バイデン次期大統領も議会に早期の合意を求めている。前進が続けば、市場を不安定化させることはなさそうだ。もっとも、ここへきて株価の上昇が再び目立っている。高値警戒感自体は強く、積極的にリスクを高める時期でもなくなっている。様子見姿勢が強まる中で、スルスルと上昇する可能性も否定はできないが、一段踏み上がるほどの材料があるわけではない。政策に対する不安感が強まるような事態となれば、一旦調整圧力が高まるリスクには要注意だ。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

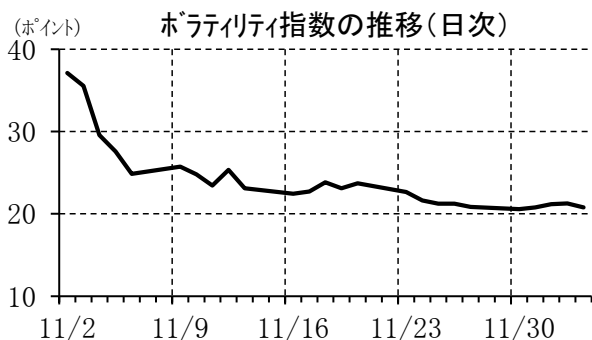
発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
12月7日(月)	日本：景気動向指数(10月)・CI一致指数		+4.8pt	+1.7pt	前月差
	・CI先行指数		+0.6pt	+4.0pt	前月差
	中国：貿易統計(11月)・輸出	★★★	+10.5%	+11.4%	前年比
	・輸入	★★★	+9.9%	+4.7%	前年比
12月8日(火)	日本：毎月勤労統計(10月)・現金給与総額	★	▲0.7%	▲0.9%	前年比
	日本：家計調査(10月)・全世帯実質消費支出	★★	+2.4%	▲10.2%	前年比
	日本：実質GDP(7-9月・二次速報)	★	+21.6%	+21.4%	前期比年率
	日本：国際収支統計(10月)・経常収支		+21,171	+16,602	億円、原数値
	日本：景気ウォッチャー調査(11月)・先行き判断DI	★★	47.9	49.1	
ドイツ：ZEW景況感調査(12月)・期待指数	★	+46.0	+39.0	ポイント	
12月9日(水)	日本：機械受注統計(10月)・船電除く民需	★★	▲11.2%	▲11.5%	前年比
	カナダ：金融政策委員会	★	0.25%	0.25%	翌日物貸出金利
	ブラジル：金融政策委員会	★	2.00%	2.00%	政策金利 (Selic)
12月10日(木)	日本：法人企業景気予測調査(10-12月)・大企業製造業	★★★★	-	+0.1	BSI
	・ " 全産業	★★★★	-	+2.0	BSI
	英国：鉱工業生産(10月)	★	+0.3%	+0.5%	前月比
	ユーロ：ECB理事会・ECB主要政策金利	★★★★	0.00%	0.00%	
	・ECB預金ファシリティ金利	★★★★	▲0.50%	▲0.50%	
	・ラガルト総裁記者会見	★★★★			
	米国：新規失業保険申請件数(12/5終了週)	★★	725	712	千件
	米国：消費者物価指数(11月)・総合	★	+1.1%	+1.2%	前年比
・コア	★	+1.6%	+1.6%	前年比	
12月11日(金)	米国：ミシガン大学消費者信頼感指数(12月速報値)	★★★★	76.3	76.9	ポイント
12月12日(土)	-				
12月13日(日)	-				

(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

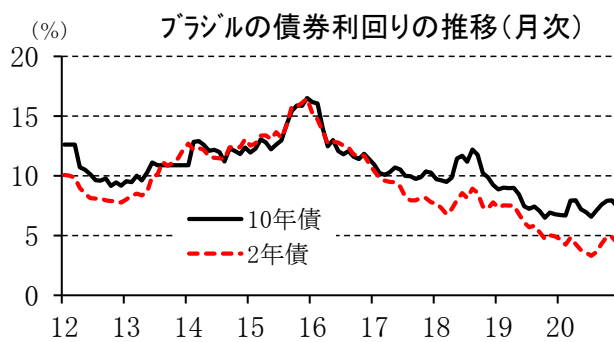
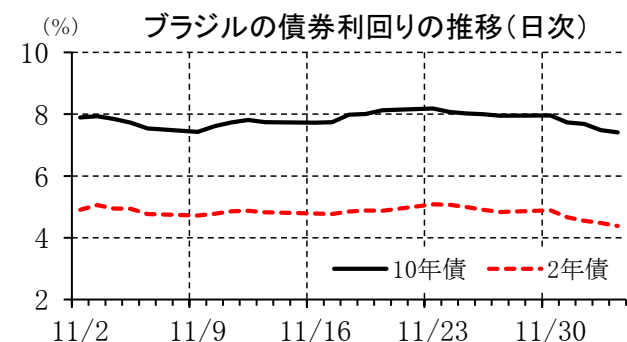
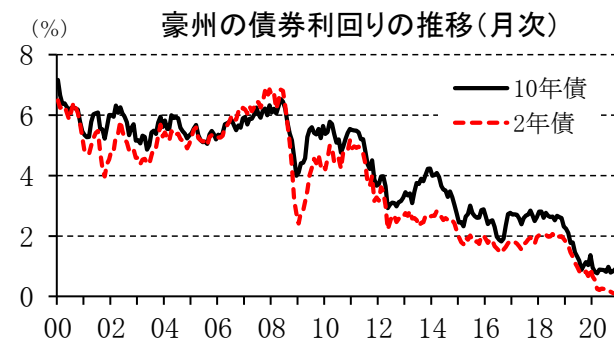
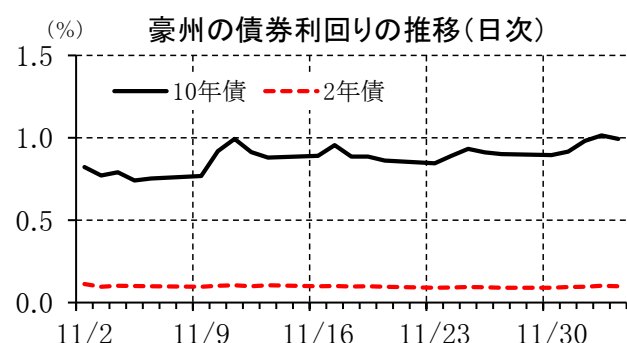
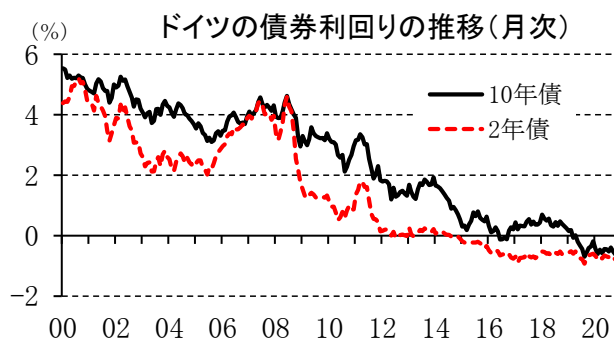
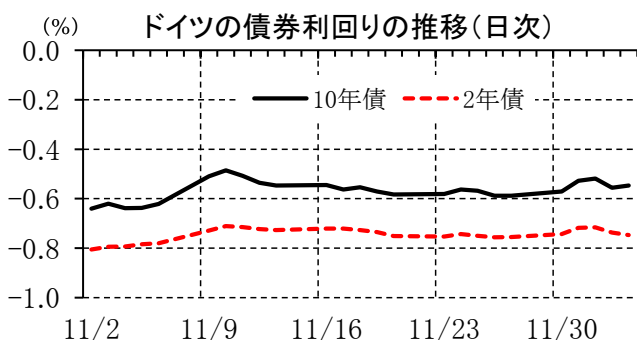
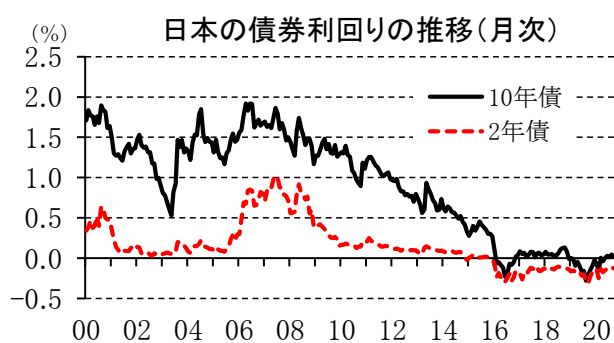
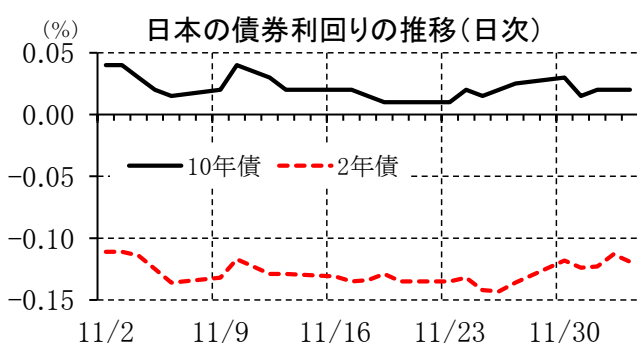
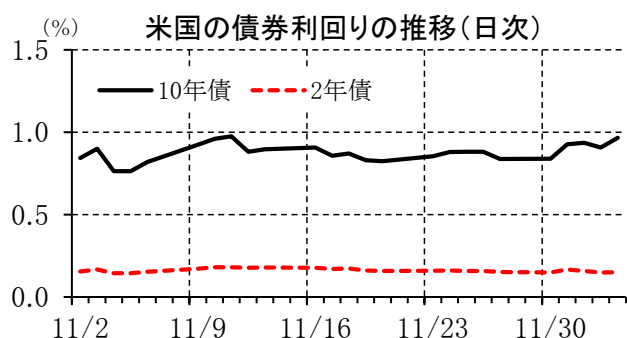
その他の注目イベント・材料

発表日	イベント	注目度	備考
12月7日(月)	-		
12月8日(火)	-		
12月9日(水)	-		
12月10日(木)	EU：EU首脳会議(～12/11)	★★	
12月11日(金)	-		
12月12日(土)	-		
12月13日(日)	-		

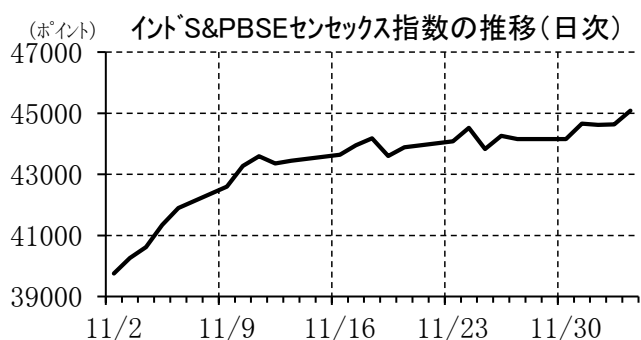
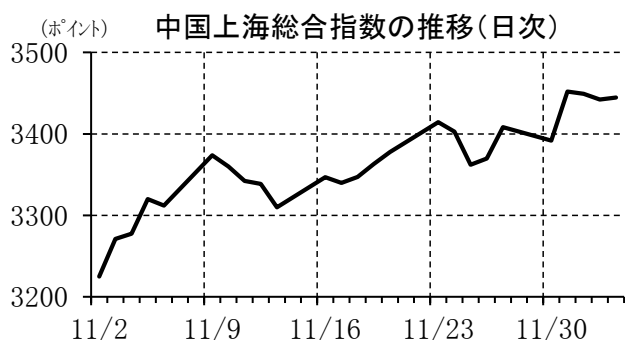
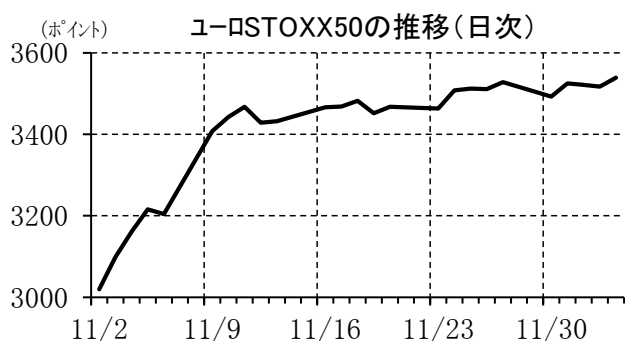
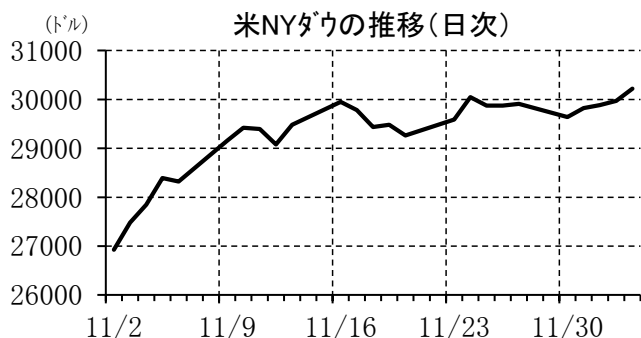
(注) 各種報道等による。注目度は筆者。



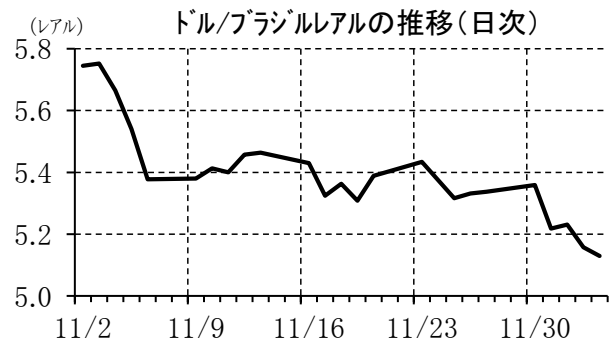
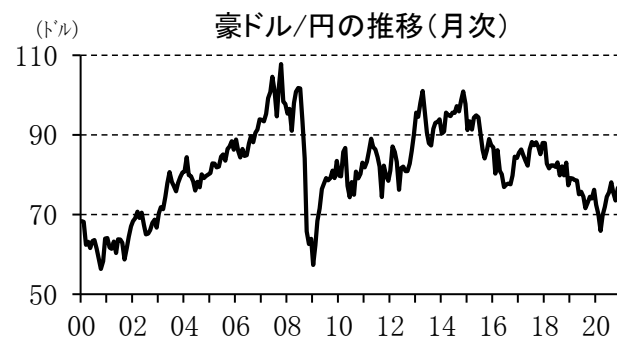
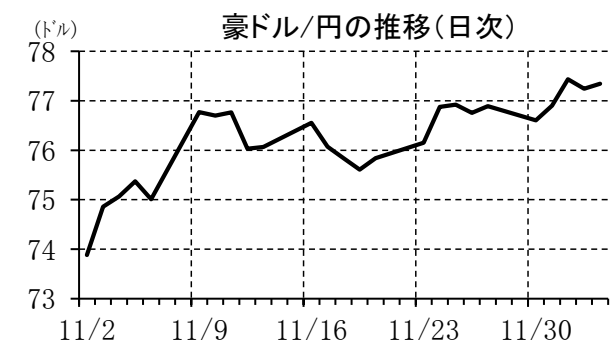
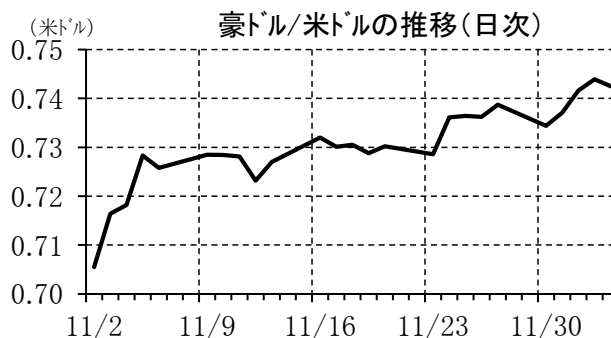
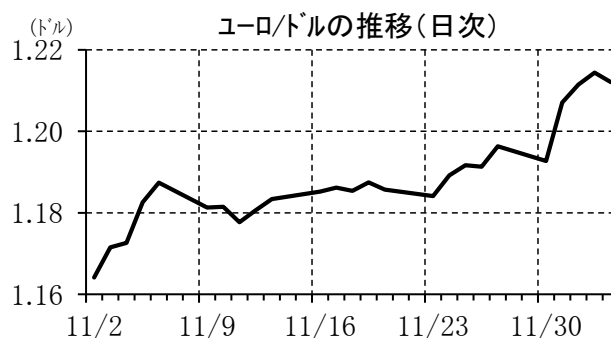
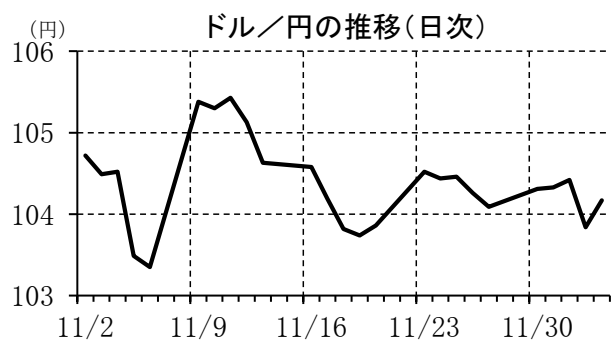
【債券利回り】



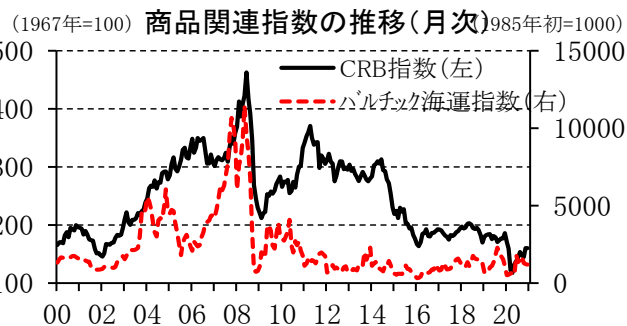
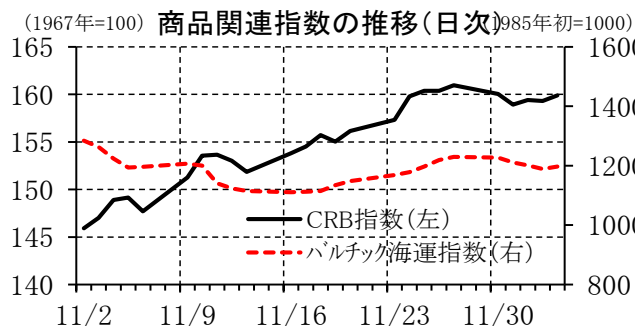
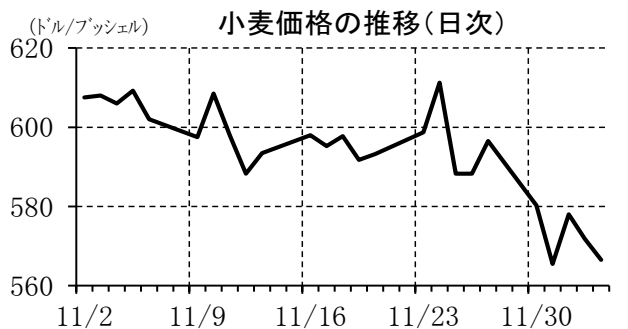
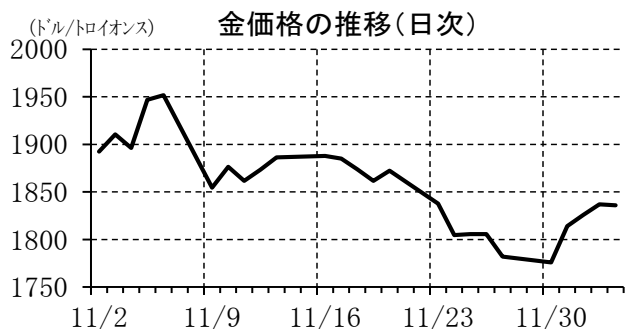
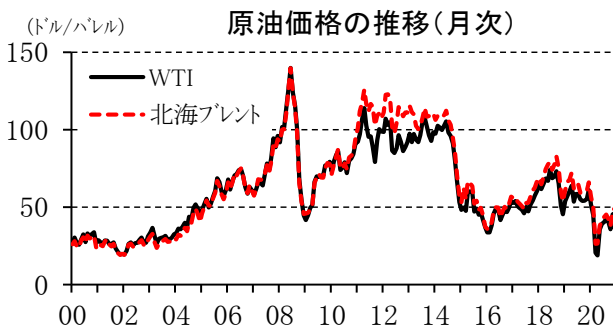
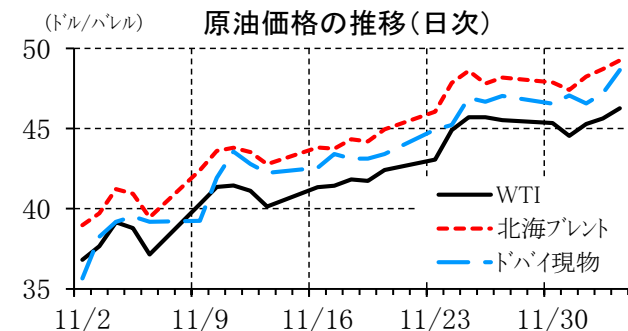
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。